

宇治茶関連プラットフォーム

宇治茶郷づくり協議会

(宇治茶の郷づくり構想の推進)

府茶業会議所、茶協同組合、JAやましろ、茶生産協議会、日本茶インストラクター協会支部、茶業青年団、山城管内12市町村、山城広域振興局

構想策定委員：山口繁雄(地域計画研究所)、小澤成介(前日本茶インストラクター京都支部長)、寺本益英(関西学院大学助教授)、橋本素子(歴史学者)、松本知毅(茶業会議所事務局長)、米田素子(ノートル女子大学教授)

宇治茶郷づくり構想(17年度)

(1) お茶の生産拡大とお茶成分等の活用推進

① 茶園造成による生産拡大の推進

- ・造成目標60ヘクタール
- ・製茶工場の再編、共同製茶工場の大型化、FA化
- ・担い手への茶園集積

② 世界に誇れるお茶づくりと安心安全な茶生産

- ・京都の土壌・品種等を活かしたお茶生産
- ・新たな品種開発、点滴施肥技術等の導入促進

③ ウェルネス産業の創出

(2) 歴史と文化の再発見活動とお茶する生活の普及

① 感動の場体験づくり

- ・「出前宇治茶淹れ方教室(仮称)」の開催
- ・「宇治茶カフェ」やお茶食材料理の普及
- ・お茶摘み体験の「宇治茶体験塾(仮称)」の開催

② 宇治茶を活用した観光への取組

- ・史跡や茶畑などの再発見運動、観光コースの設定

③ 宇治茶会館の設置支援

(3) 宇治茶の郷から情報発信

- ① 宇治茶の郷通信の発行、② 宇治茶週間(仮称)の設定

宇治茶の魅力、世界へ発信プラン

(宇治茶の世界ブランド化推進)

五十畑哲(ロマンライフ広報秘書室長)、伊豆田千加(エーゲル代表)、伊藤明子(福寿園)、上杉和央(府立大学)、菊岡祐一(茶業連青年団副団長)、高橋拓児(木乃婦)、伊達浩憲(龍谷大学経済学部教授、座長)、平岡一平(茶協同組合常務)、安井徳重(宇治田原製茶工場社長室長)、山本美砂(ホテルグランビア京都)

アクションプラン(23年度)

(1) 統一コンセプトによる情報発信や顧客の獲得

① 宇治茶の魅力世界発信プラットフォームの設置

(情報制作、宇治茶、観光、宣伝・広報チーム設置)

- ・宇治茶萌芽の会(仮称):茶業界の若手

② 宇治茶情報ステーションの開設(お茶なび)

③ ホテルコンシェルジュ、女将さんへのお茶淹れ方普及、バスガイド・タクシードライバーへの情報提供

④ 外国語を備えたルートマップ、統一ロゴサインの設置支援

(2) 宇治茶の魅力感動体験の場づくり

① 京都駅などへ「味と香りの宇治茶感動の場(仮称)」設置

② 「宇治茶感動ぜいたくプラン(仮称)」の企画公募

③ 機能性成分(テアニン)のPR、てん茶茎・葉の商品開発

(3) 日本文化と一体となった宇治茶の世界ブランド化

① 海外向けロゴの作成

② 宇治茶伝道師のプロモーション活動

③ 在外著名人による「宇治茶大使(仮称)」活動

④ 輸出対応型宇治茶栽培技術の確立

(4) 世界遺産登録「茶畑景観継続の仕組みづくり」

世界文化遺産登録推進

(宇治茶の文化的景観と生産が融合する地域づくり推進)

谷口弘(同志社大学客員教授)、森正美(京都文教大学教授)、中村貴子(府立大学講師)、橋本素子(京都光華大学等講師)、茶業会議所西口常務、京阪電気鉄道・京都銀行観光支援室長

(行政:山城管内市町村、山城広域振興局、農林水産部)

地域力再生重点プラットフォーム(25年度)

① 宇治茶の郷づくり構想の取組と連携し、② アクションプランの世界遺産登録に向けた茶畑景観等が継続できる仕組みづくりを具体的に進めるため、世界文化遺産登録を視野に入れ、「茶の集積地」の山城地域において形成された文化的景観を保全し活用する戦略をまとめ、宇治茶の世界遺産登録に向けて行動することをミッションとする。

(1) 宇治茶生産の景観保全・活用と宇治茶の価値の発信戦略を策定

○宇治茶世界文化遺産登録推進検討委員会において定められた提案書コンセプトの骨子『日本茶ふるさと「宇治茶生産の景観」を保全・活用し、宇治茶の価値を発信するためのソフト・ハード面から集中的・計画的な投資を行うための戦略づくり

(2) 「宇治茶資産」の保全・継承に向けた活動

○世界遺産登録を旗印に宇治茶資産を地域の宝として保全・継承するために、専門家による調査と地域住民とともにワークショップを実施

(3) 宇治茶応援団づくり

○留学生等を含む世界文化遺産登録へ府民応援団づくり

○世界文化遺産登録推進シンポジウムの企画・運営